

吉野中学校は、「やればできる」のスローガンを掲げて、生徒会整美部の環境委員が中心となり、学校版環境 ISO に基づいて、地球にやさしい行動を実践しています。

○ 環境委員の取組

・ エネルギー節約や資源リサイクルによる地球環境の保全

→ 「電灯がついたままではないか」、「水を必要以上に出していないか」、「学級のリサイクルボックスを活用してこまめにリサイクル活動を行っているか」などの項目について、環境委員の整美部が点検、確認を行い、出来ていない部分は呼びかけを行うなどして、全生徒の環境保全への意識を向上させる活動を行っています。

・ 環境委員会の開催

→ 毎月1回、学校専門部会で各クラスの環境委員の整美部長が集まり、活動状況を振り返ったり、翌月の活動目標や具体策を考えたりして、環境に配慮した行動について話し合っています。このとき、環境チェック用紙を活用しています。



リサイクル用紙の回収箱

チェック項目	日	日	日	日	日
1 教室の照明は、使っていないときに消されていたか。	A	A	A	A	A
2 水の無駄使いはなかったか。	A	A	A	A	A
3 リサイクルできる紙類と燃えるゴミがしっかりと分けられていたか。	A	B	B	A	
4 各学級のリサイクル紙が資源回収にしっかりと取り出されたか。	A	A	A	A	
5 各学級のゴミ出し係が決められた活動にしっかりと参加できたか。	B	A	C	B	
6 環境に関する活動を報告したり呼びかけたりすることができたか。	C	C	C	C	

※ 評価の基準
A: よくできていた / B: だいたいできていた / C: できていなかった

今日の反省
行動から事じま来たがすい月11日に参加
環境印

来月の活動目標
環境に関する活動の報告や呼びかけ
環境印

環境チェック用紙



環境チェックを行う様子

○ 学校の環境に関する取組

・ PTA 親子リサイクル活動

→ 学期ごとに（1年間に3回）リサイクル資源の回収に取り組んでいます。校区各地域からの回収分と、学校内のリサイクル活動による回収分が集まり、アルミ缶やビン、古紙、段ボールなどの分別を通してリサイクル資源の活用についても意識を高めています。

・ ボランティアによる環境美化活動

→ 広い敷地内に多くの樹木があるため、落ち葉の清掃や樹木の伐採など、部活動生と職員ボランティアによって維持・管理されています。

生徒の声 ～鹿児島市学校版環境 ISO に取り組んで～環境リーダー～

整美部が中心となって節電、節水を呼び掛けたことで、少しずつではあるけれども、生徒ひとりひとりが環境について考え、節電、節水を心掛けてくれる人が多くなったと思います。しかし、まだ課題が残っている部分があるので、改善策を考え実行していきたいと思っています。